

2026 年度 東北公益文科大学

＜国際学部＞学校推薦型選抜試験問題

小 論 文

受験 番 号								氏 名	
--------------	--	--	--	--	--	--	--	------------	--

受験上の注意

- ① 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いたり裏返したりしてはいけません。
- ② 机の上に置いてよいものは、受験票、筆記用具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆キャップ、鉛筆削り）、眼鏡、ハンカチ、薬、ティシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、時計のみです。なお、時計は計時機能だけのものに限りません。
- ③ 携帯電話及びスマートフォン等の電源は必ず切ってください。
- ④ 小論文の問題は見開き 1 ページです。
- ⑤ 解答用紙は 1 枚です。
- ⑥ 受験番号と氏名は、問題冊子及び解答用紙のそれぞれ所定の欄に必ず記入してください。
- ⑦ 問題の解答時間は 70 分です。
- ⑧ 解答は別紙の横書きの解答用紙に 600 字以内でまとめてください。
- ⑨ 問題冊子の余白は下書きに用いてもかまいません。
- ⑩ 解答用紙の余白及び裏面には何も書いてはいけません。
- ⑪ 問題に疑問のある場合は黙って手を挙げてください。ただし、問題の内容に関する質問については受け付けない場合があります。
- ⑫ 試験中に気分が悪くなった時やトイレに行きたくなった時は、手を挙げて係員の指示に従ってください。
- ⑬ 印刷に不鮮明な箇所がある場合は、黙って手を挙げてください。
- ⑭ 解答用紙は汚れても新しいものとは交換しません。そのまま提出してください。
- ⑮ 解答終了の合図で、筆記用具を置いてください。
- ⑯ 係員が答案用紙の回収を終えるまで、席を立たないでください。
- ⑰ 問題冊子は試験終了後持ち帰ってください。

次の文章を読み、あとの問に答えなさい。

線形経済から循環経済へ

使い捨てを基本とする大量生産・大量消費型の経済社会活動は、大量廃棄型の社会を形成し、天然資源の消費を抑制し環境への負荷ができる限り低減される健全な物質循環を阻害するほか、気候変動問題、天然資源の枯渇、大規模な資源採取による生物多様性の損失など様々な環境問題にも密接に関係しています。例えば、国連環境計画国際資源パネル（UNEP IRP）の「世界資源アウトルック 2024」では、世界の天然資源の採取と加工が、地球全体の温室効果ガス排出量の要因の 55%以上、陸域の生物多様性の損失と水ストレスの要因の 90%以上、粒子状物質による健康影響の要因の最大 40%を占めており、これら採取・加工による気候及び生物多様性への影響は、気候変動を 1.5℃未満に抑制し生物多様性の損失を防ぐための目標をはるかに超過していると指摘されており、資源効率性・循環性を向上させ天然資源利用の削減を進める取組は気候変動対策や生物多様性保全を始めとする環境負荷削減策としても極めて重要です。

循環型社会の形成に向けて資源生産性・循環利用率を高める取組を一段と強化するためには、従来の延長線上の取組を強化するのではなく、経済社会システムそのものを循環型に変えていくことが必要です。具体的には、大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済・社会様式につながる一方通行型の線形経済から、持続可能な形で資源を効率的・循環的に有効利用する循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行を推進することが鍵となります。環境制約に加え、産業競争力強化、経済安全保障、地方創生、そして、質の高い暮らしの実現によるウェルビーイングの向上にも資する循環経済への移行を進めることは、関係者が一丸となって取り組むべき重要な政策課題であり、バリューチェーン全体での徹底的な資源循環を促進する必要があります。

出所：環境省編『「新たな成長」を導く持続可能な生産と消費を実現するグリーンな経済システムの構築 令和 7 年版 環境・循環型社会・生物多様性白書』、第 1 章「市場」～環境とビジネス～（日経印刷、2025）、7-8 ページより抜粋・一部改変。

URL <https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/r07/pdf/full.pdf>

問 使い捨てを基本とする大量生産・大量消費型の経済社会活動が、地球環境問題にどのような影響を与えているのかを説明し、循環型社会の形成に向けて必要と考えられる方策について、あなたの考えを 600 字以内で述べなさい。